

研究に関するお知らせ

【研究課題名】

- ・胆道閉鎖症患者における ^{99m}Tc -PMT を用いた胆道シンチグラフィの診断能に関する研究

【研究の概要と目的】

・乳児の遷延性黄疸の一因として胆道閉鎖症が挙げられ、早期に診断することが、胆道閉鎖症患者様の予後を改善する上で重要です。胆道シンチグラフィは、放射線製剤が肝実質細胞に取り込まれ、速やかに胆道に排泄されることから黄疸の原因を鑑別するのに有用です。本研究の目的は、胆道閉鎖症患者様における ^{99m}Tc -PMT を用いた胆道シンチグラフィの診断能・臨床的意義を明らかにすることです。将来的には患者様により安全に、早期に胆道閉鎖症を診断することで予後改善に寄与することが期待されます。

【本研究の対象・方法】

・当院で胆道シンチグラフィ検査が必要と判断され、施行する患者様を対象にしています。得られた画像情報や患者様の臨床情報（症状、血液検査、超音波検査、最終診断）を比較検討し、その有用性について検証します。

【研究機関】

- ・熊本大学附属病院

【個人情報の取り扱い】

- ・研究結果は、学会・学術雑誌等を通じて発表する場合がありますが、その際、患者様の名前・住所など個人を特定できるような情報は一切含まれません。

【本研究への参加と撤回の自由】

- ・本研究のための患者様への費用の負担はありません。また、研究の対象となる患者様への謝金もありません。
- ・この研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。
- ・この研究における利益相反はありません。
- ・本研究への参加は、患者様の意思で決めていただきますが、たとえ参加を拒否されても患者様への不利益は生じません。また同意された後でもそれを撤回することができ、それによって不利益を被ることも一切ありません。
- ・また、2018年7月30日までに胆道シンチグラフィ検査を受けられた患者様で、ご自身の検査結果などを研究への使用をご承諾いただけない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

【問い合わせ先】

研究担当者：熊本大学医学部附属病院 津田紀子

住所：熊本市中央区本荘1丁目1-1 電話：096-373-5261